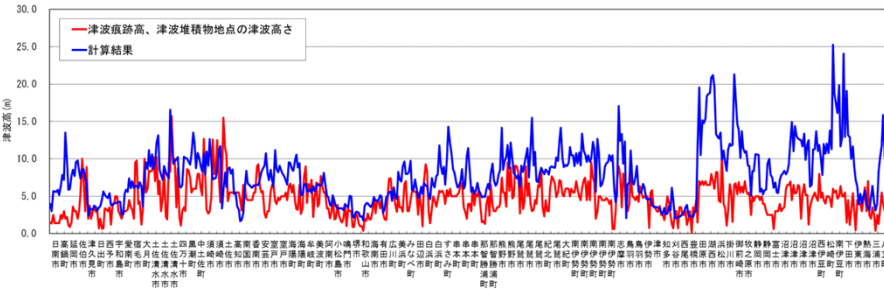
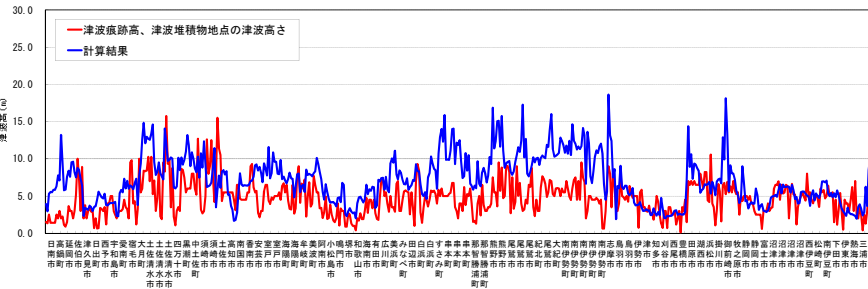


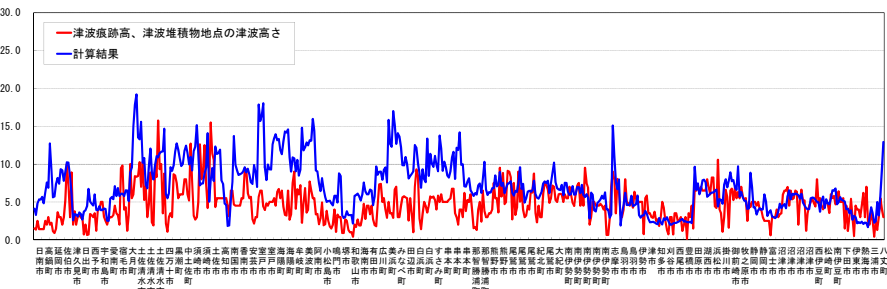
南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高（過去の痕跡高との比較）＜満潮位＞



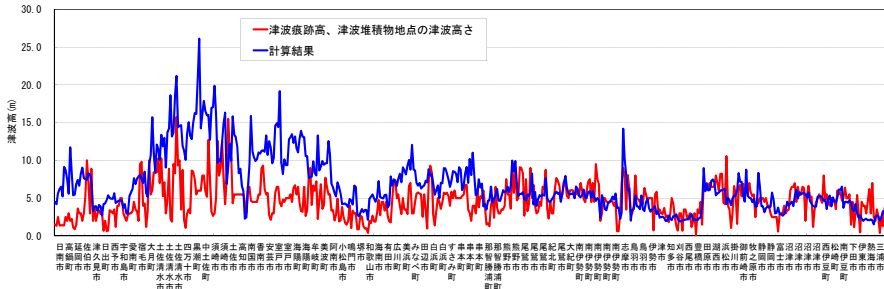
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



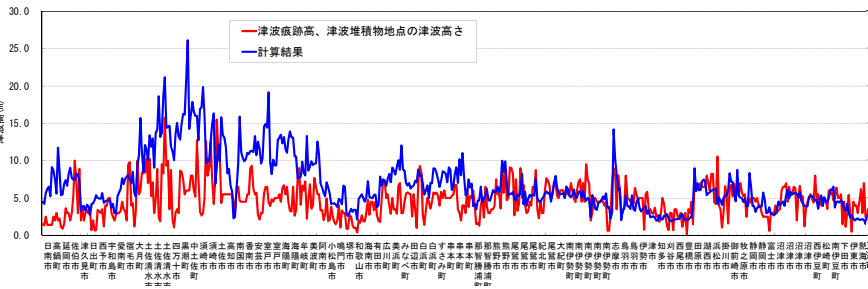
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



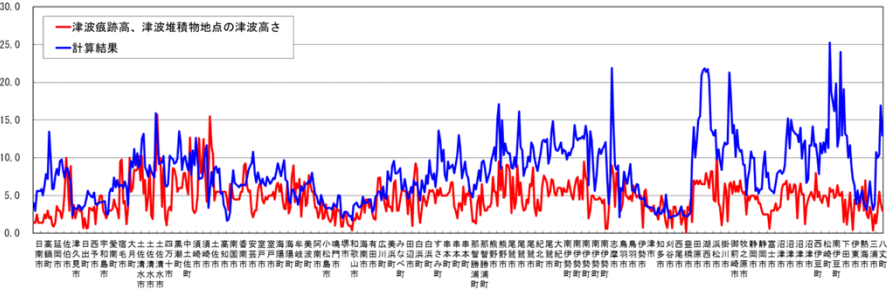
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



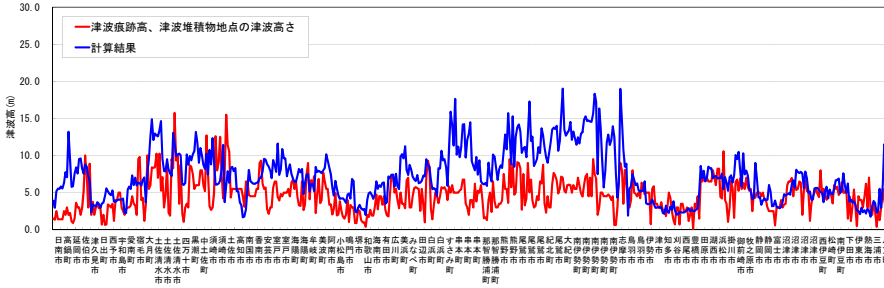
【ケース④ 四国沖に大すべり域を設定】



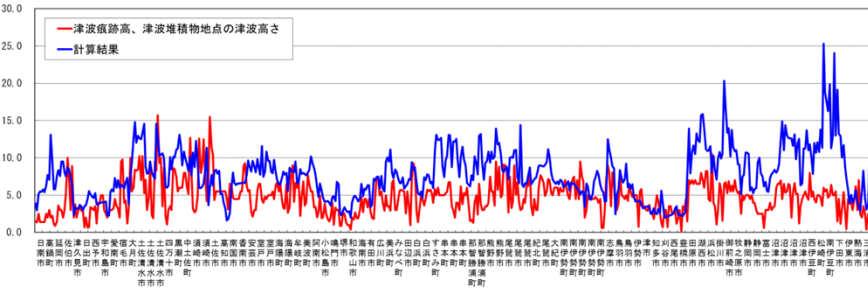
【ケース⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



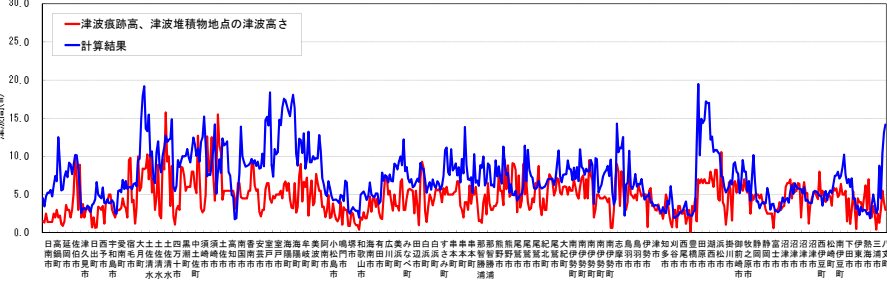
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



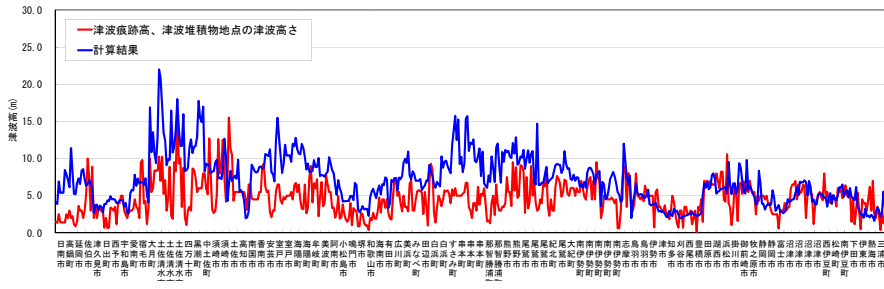
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



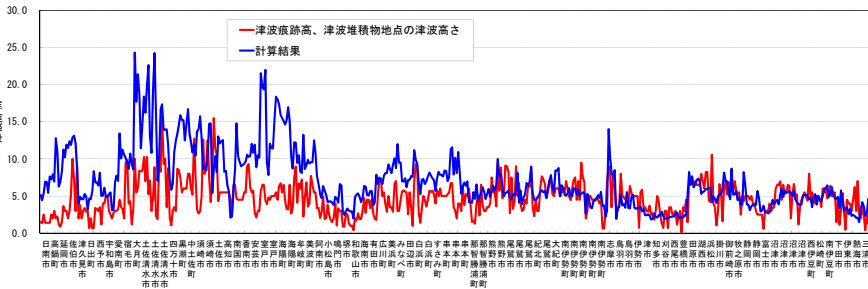
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖
三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



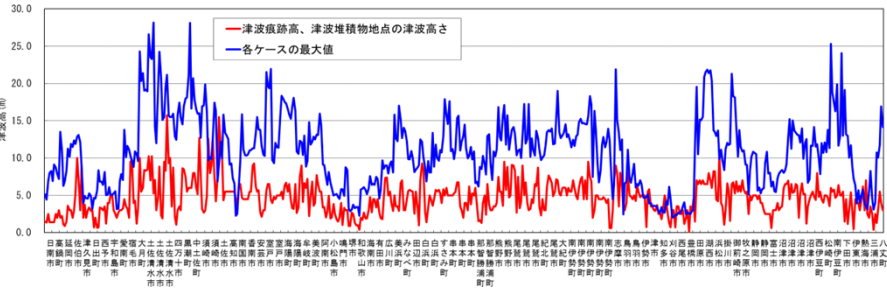
【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、
室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、
足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】



【最大クラスの津波高（各ケースの最大重ね合わせ）】

この資料は、計算結果と過去の津波の痕跡を比較したものであるため、計算結果(青いグラフ)は、すべての地点をプロットしているのではなく、痕跡高等があるところのみをプロットしている。したがって、必ずしも最高となる地点がプロットされていない。

そのため、全体的な傾向を把握するためには、添付資料⑩「海岸の津波の高さグラフ(満潮位)」を参照する必要がある。